



RI 第 2 6 1 0 地区
井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09 年度 No.20 11 月 26 日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09 年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

① 例 会 記 録

② 特集「ロータリーよ どこへ行く」Ⅴ



第 2610 地区 2008-2009 年度地区大会【富山国際会議場】に出席のメンバー

街なかランチを富山第一ホテル地下の和食「松川」で・・・

①第1450回例会「地区大会後のC.A.」

平成20年11月19日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 小西会長
2. 君が代斉唱
3. ソング「我等の生業」
4. ビジター：松本敏博君（南砺RC）
5. 会長の時間…「昨夜来、雷が続き、ずっと雨模様でした。時々見えた雲の切れ間からは、医王山が真っ白でした。いつもは、月末に家族例会で、紅葉を見に行きましたが、今年は紅葉と雪が混じってきれいです。地区大会はご苦労様でした。後ほど、報告をさせていただきます。」

6. 委員会報告…①出席委員会(代理)：25名中14名出席（出席免除者7名中4名出席）・・・出席率63.64%

7. ニコニコBOX(高瀬SAA代理：本日7名8,000円)

小西会長：選挙も終わりました。当クラブから、浅田さん、助田さんが市議に当選されました。おめでとうございます。

河合副会長：木村さん、写真有難うございます。

三谷会員：市議、二人当選おめでとうございます。

横川会員：結婚祝お礼、長い市長選終わりました。

三角会員：地区大会欠席お詫び。

水島会員：仕事で早退、お詫び。

山本会員：いろいろお疲れ様でした。木村さん写真お礼。

小生の地区大会の写真集は、近日HPで。

(11月計 18,000円：年度累計 189,000円)



会場の富山国際会議場

クラブ・アッセンブリー「地区大会」

小西勝 会長

小西会長：本日は後ほど、地区大会参加の方に、感想など語っていただきます。

まず、第1日に指導者研修セミナーがありました。会長・幹事ばかりでなく、エレクトや次期幹事の出席も見られました。「識字率向上支援」について、仲谷純三パストガバナーから、話があり、続いて、「CLPプラン」について、うまくいっている小松東RCの例と、あまりうまくいってない新湊中央RCの例が説明されました。その講評を北川晶夫パストガバナーがされました。

その後、各種表彰があり、当クラブが「100%財団の友会員のクラブ」と「毎年あなたも100ドルを」クラブで、表彰されました。【記念バナー受賞】



↑【写真提供：古軸南砺RC幹事】

続いて、3人の記念講演があり、梶波康二金沢医大教授が、留学時の財団国際親善奨学制度の恩恵を感謝するという話や、当クラブにも米山奨学生として卓話で訪問されたペレラ・ワサンタ君がその後の報告を、また、松波潤哉さんが国際青少年交換留学生としての経験談を語られました。その後の活動報告として、能美RCの08-09年度マッチンググラウンド「モンゴル飲料用井戸装置」について、韓国釜山南山RCと共同事業を計画し、実施された話がありました。

その晩は、RI会長代理歓迎晩餐会があり、安平和彦RI会長代理を囲んでの賑やかな懇親の場でした。

2日目は、何人か参加されておられましたので、順番に、感想など述べて下さい。



河合会員：ニコルさんの話が大変良かったです。魚津の会員から、ガバナーマンスリーレポートを見たよと、声をかけてもらいました。



木村会員：地区大会そのものが少しづつ変化しているのを実感しています。効率性がよく、簡略化できるところはしながら、内容を充実し、手を抜くところは抜くいい大会でした。

いくつかの気付いた点で、①登録者には、いつも袋物（記念品が入っていた）がもらえたが、今回はない、②会員夫人が揃って並ぶという歓迎がなかった、③当日、新聞の全面広告がなかった、④翌日、新聞記事もなかった（実際には、北日本に掲載）⑤財団の個人表彰がなかった、⑥街なかランチは、弁当の把握が今まで大変だっただろうと考えると、いい試み、ただしメイン会場の周囲何キロなのの中に食物屋が多くないといけない、⑦となりの ANA クラウンプラザホテルでの「大会の夕べ」は、女性4人グループで、すっきりしていて良かった、以上です。



横山幹会員：ニコルさんの森との共生、自然と歩む姿に感動しました。環境造形を身をもって実践されて素晴らしいです。私もこれからは、自然と人間の共生を心がけていきたいです。

小西会長まとめ：今回のテーマは「スマート&シンプル」でした。RI 会長代理の安平さんの話は、スライドを使い、RI の問題の分析をこと細かく数字を見せながら説明され、大変わかりやすかったです。ニコルさんもスライドや映像を見せての説明はわかりやすく、森に自閉症の子どもを招待して次第に変わっていくのが分かりました。

（予告）次号でも地区大会報告②掲載

・・・井波庄川 RC の HP に大会写真集掲載

【編集後記】

今回の地区大会は、前評判とおりの素晴らしい記念講演を聞くことが出来ました。ニコルさんが故郷の南ウェールズの炭鉱で荒んだ土地や汚れた河川に嫌気をさして、この日本にきて、まだ見込みがあると森の再生に取り組まれたいくつかの転機を今回、初めて聞かせてもらいました。おそらく、こんな時間では語りつくせないいろんな経験を重ねられての、今日の最後のまとめは、「今がチャンス、美しい日本を作ろう」でした。日本国籍をもたれたとはいえ、元はイギリス人のニコルさんが、こういう呼びかけをしておられるのに、われわれ日本人が答えないでどうするのでしょうか。「南砺の山々を守る活動」外、出来ることを精一杯、頑張りましょう。

（山本武夫）

シリーズV 『子供じゃあるまいし』

井波庄川ロータリークラブが誕生した30年前と、ロータリーが大きく変わったもうひとつに「地区組織の拡大強化」がある。

国際ロータリーは、全世界200ヶ国にまたがる約33,000のクラブを管理するために、全世界を6つのエリア、34のゾーン、530の地区に分けている。つまり、井波庄川ロータリークラブは、アジア地域の第2ゾーンに属する、富山・石川両県の第2610地区65クラブの中の一つということになる。

国際ロータリーの会員は、われわれロータリアンでなくロータリークラブであり、その役員は地区内では、地区ガバナーひとりである。

当時の地区組織を見ると、委員会と名のつくものは7、その構成委員はガバナーをトップに40名であったが、30年後の現在では委員会数30、委員数は163と実に4倍に膨れ上がっている。これに較べて、この地区クラブ数は41から65クラブに、会員数2,000名から約900名増えたに過ぎない。

それでは、ここでクエスチョンです。

「R.I.では地区に対し、委員会組織の設置を義務づけているのは何の委員会、その数は幾つでしょうか」

「答えは0（ゼロ）です」

四半期に一度開催されるR.I.理事会で

決定されたプログラムやプロジェクトなどの情報をクラブに伝える手段として、地区にそのための委員会を設けることが出来るとしているが、義務づけてはいない。その決定は地区ガバナーの裁断にかかっている。

R.I.が推奨、奨励、要請、推進するものすべて受け入れて委員会を立ち上げていけば、委員会の数がどんどん増えていくのは当然である。

本来、地区の役割はクラブの運営・活動を支援するためのものであった筈である。ところが現在では、地区は地区内のクラブを管理・監督・指導しようとする方向に変わってしまった。このような制度の終わりには、必ず結果責任がつくのが通例であるが、いまだかつて、責任をとってロータリーを辞めたという話は聞いたことがない。

近年、婦人会の連合会脱会がとまらないという。その理由は余りの行事の多さに、会員が悲鳴をあげていることらしい。行事は増えるばかりで、増やした分を減らすということをしないからだ。地区組織を見ていると他人事でないような気がする。

最近のロータリーを見ていると、余りにも組織が拡大したために、ロータリーの本来の目的をよそに、ただ組織を維持するためのロータリーになっているように見えて仕方がない。そんなにわれわれクラブが頼りなく見えるのだろうか。